彦根城博物館だより 142

Hikone Castle Museum News
2023.9.1

特別展

大名と菓子 ―百菓繚乱―

2023年
10/7（土）～11/6（月）

駿河屋伝来 菓子木型・菓子絵手本「蟠桃」

和歌山市立博物館蔵

写真の作品は、長寿を司る西王母の持物「蟠桃」を象った菓子の絵手本と、これを制作するための木型です。どちらも紀州藩の御用を代々勤めた菓子商、駿河屋に伝来したもので、紀州徳川家十代治宝（一七七一～一八五二）好みの品と伝わります。治宝は、表千家の茶の湯を熱心に取り入れ、京の陶工を招聘して瑞芝焼を興したほか、古楽器の収集を行うなど、諸芸を愛し「数寄の殿様」とも呼ばれた人物です。

高度な彫りの技術に裏打ちされた華麗な意匠の本品は、治宝が菓子に求めた「美」の有様を今に伝えています。

展覧会情報

企画展
関東大震災から100年
災害と井伊家伝来資料
9月1日 ▼ 10月4日

特別展
大名と菓子 ―百菓繚乱―
10月7日 ▼ 11月6日

テーマ展
龍 ―天翔る霊獣―
12月14日 ▼ 1月15日

展示案内

2023年 9月～11月

常設展示 ”ほんもの“との出会い

―彦根藩井伊家伝来の大名道具を中心に八〇点あまりを展示―

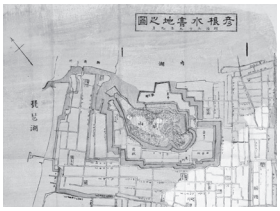
企画展　展示室1

9/1（金）～10/4（水）

関東大震災から100年
災害と井伊家伝来資料

井伊家伝来の美術品と古文書は、彦根城下一帯も浸水した明治二十九年（一八九六）の琵琶湖大洪水や、東京や横浜などに甚大な被害をもたらした、大正十二年（一九二三）九月一日の関東大震災などによって、その多くが失われてしまいました。関東大震災から百年の節目を迎えるにあたり、井伊家伝来資料に関わる災害の歴史を改めて振り返ります。

関東大震災罹災品 湖東焼



彦根水害地之図（部分）

◉スライドトーク◉

■日　時　9月2日（土）14時～（30分程度）
■講　師　茨木恵美（当館学芸員）
■会　場　当館講堂
■参加費　無料
■定　員　50名（先着順）
＊関連講座を開催します。（4頁参照）

特別展　展示室1・2

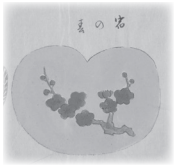
10/7（土）～11/6（月）

大名と菓子 ―百菓繚乱―

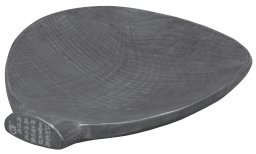
芸術文化振興基金助成事業

江戸時代、菓子は、幕府の儀礼の場で重用され、江戸は、菓子作りの先進地であった京とともに、菓子文化の中心地となりました。そして、江戸の菓子文化は大名を介し国元に伝えられて全国各地へ広まり、大名好みの菓子が地域の銘菓となって今も愛されています。

令和五年四月、彦根市では「井伊直弼公の功績を尊び茶の湯・一期一会の文化を広める条例」が制定されました。本展は、この条例の制定記念として開催するもので、菓子木型や菓子雛形、茶会記や注文書などの種々の資料を一堂に展示し、大名が愛した菓子を中心に、多様な菓子文化の魅力をご紹介します。

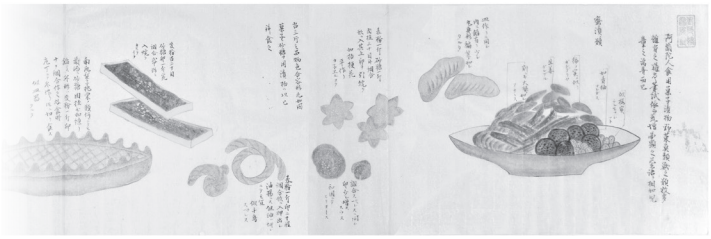


尾張徳川家伝来　御干菓子御見本（部分、名古屋市蓬左文庫）



多賀杓子菓子器（当館蔵）

有職菓子模造（東京国立博物館蔵）



紅毛人菓子異物図（部分、当館蔵）

関連事業

①記念講演会「江戸時代の菓子文化」
■日　時　10月21日（土）14時～15時30分
■講　師　中山圭子氏（虎屋特別理事・虎屋文庫主席研究員）
■会　場　当館講堂
■受講料　400円
■定　員　50名　＊事前申込制
＊申込方法＊
往復はがき往信の裏面に住所・氏名・電話番号を、復信の宛名面に住所・氏名を明記の上、「特別展講演会」係までお申し込みください（お1人様1通）。
彦根市電子申請サービスからも申し込みできます。
■申込期間　9月15日（金）～10月6日（金）（郵送の場合は当日消印有効）

②講演会「井伊家と菓子」
■日　時　10月14日（土）14時～15時30分
■講　師　奥田晶子（当館学芸員）
■会　場　当館講堂
■資料代　100円（但し、彦根市内在住の中学生以下は無料）
■定　員　50名（先着順、13時30分から受付）

③スライドトーク
■日　時　10月7日（土）14時～（30分程度）
■講　師　奥田晶子（当館学芸員）
■会　場　当館講堂
■参加費　無料
■定　員　50名（先着順）

研究余録

金亀玉鶴

菊に魅せられた幕末の女性画人「菊満香」なる吉村満香

幕末期、おもに近江国湖北地方で活動したとみられる、菊の画を得意とする女性がいました。吉村満香です。いつの頃からか、菊満香と称されるようになりました。彼女の確かな情報はほとんどなく、伝説の人物のようになっていましたが、地元の方々等の熱心な動きもあって、朧気ながらにその輪郭が見えてきました。

満香の菊の画は、装飾的でたらし込みが多用され、琳派風であると判断できます。本人が琳派を強く意識していたことは、使用印の一つが、同派がよく使う朱文大円印であることからも明らかです。この印文は「菊万香女」で、満香が「万香」とも称していたことが判明します。

満香の出自については、国学者の長野義言（一八一五～六〇）の「授業門人姓名録」（彦根藩井伊家文書）で明らかとなります。それには、皇都の人で、吉田殿内の吉村旭嶺の女、嘉永元年（一八四八）十二月二十日に入門とあります。当時義言は、坂田郡志賀谷村で私塾を開いていました。この塾は、同村の領主水野家の代官、阿原家の土地内に存しました。

この二年前の弘化三年（一八四六）秋、満香は、浅井郡今村の真宗寺院、岩隆寺の住持、大田翠巌（一七九〇～一八五九）著賛の菊の画を描いています。翠巌は、京を始めとして各地を遊歴して多くの文人と交流した地元きっての文人です。岩隆寺には、彼の交流の様を伝える多くの詩文や書画、書状類が伝来し、その中に満香の作品が四点含まれています。

その中の一つが、地元文人の寄合書とみられる扇面です。一輪の菊を描き入れた満香は、翠巌サロンの一員であった可能性が高く、同寺には、菊に鶏を画題とする本格的な満香画が伝来しています。

そして、嘉永三年（一八五〇）から翌四年にかけて、坂田郡柏原宿の旅籠屋の女主人、巌佐由衛（一八一四～九四）との交流が、由衛の日記（個人蔵）で確認できます。満香の「岩根の菊の画」に由衛を含む四人が和歌をしたためたこと、阿原氏の歌会に由衛、阿原千賀の二人の女性とともに満香も参加したこと、満香が由衛宅を複数回訪問したこと、由衛が満香を十五キロ程離れた美濃国不破郡表佐村に行かせたことなどが記されています。記事を追っていくと、由衛は満香を客分扱いしておらず、二人は近しい間柄のように捉えられます。由衛の日記には、柏原宿の庄屋の吉村家の因高、昌貞がしばしば登場しますが、吉村旭嶺・満香父子は、この一族である可能性も視野に入れるべきではないでしょうか。

菊に鶏図衝立　吉村満香筆（岩隆寺蔵）

女性と言えば、美濃国大垣の江馬細香（一七八七～一八六一）との接点もうかがえます。細香は、画を京の玉潾や浦上玉堂に、詩を頼山陽に師事し、詩や文人画の域で高い才を発揮した人物です。彼女の人的交流の中で成ったとみられる名家詩画帖（江馬寿美子家文書）には、満香の菊の画が納められており、同じ絹地に描かれた作品の年記のあるものは嘉永二年から四年であることから、満香画もその頃の作と考えるのが自然でしょう。

坂田郡乾村の画家、中川耕斎（一八三八～一九二二）は、満香の画から学んだ形跡があります。所持していた粉本に満香原画とみられるものがあり、後年の作品中に、満香画に影響を受けたと考えられる画も現存しています。後世への影響も含め、満香の画業の解明がさらに進むことに期待します。

（髙木文恵）

秋の夜にどうぞ一服

秋声の茶席

当館では、市の観光事業、「彦根夜の陣」の一環で、藩主の住まいを復元した木造棟にて、夜間の茶席を設けています。殿様の気分を味わえる特別な機会ともあって、例年大変ご好評をいただいております。今年度は秋に四日間開催します。是非、ライトアップされた庭園と夜空を眺めながら、ゆったりとお茶とお菓子をお楽しみください。

■日時
10月7日(土)・8日(日)・21日(土)・28日(土)
①18時～18時30分　②19時～19時30分
＊各回30分制

■会場　当館木造棟

■料金　一服800円
（抹茶・季節の生菓子・限定版御城印）

■定員　各回8名

■受付開始　9月20日(水)8時30分

■申込方法
事前予約制。各開催日の前日17時までに、お電話にてお申込みください。
（定員に達し次第、締切）
TEL 0749(22)6100

＊展示室はご覧いただけません。

スケジュール 9月～12月

9月

- 2(土) スライドトーク 災害と井伊家伝来資料
- 3(日) 教室 古文書のみかた 中級編①
- 9(土) 教室 古文書のみかた 中級編②
- 16(土) 講演会「災害と井伊家伝来資料」
- 23(土・祝) 教室 古文書のみかた 中級編③

10月

- 1(日) 教室 古文書のみかた 中級編④
- 5(木) 休館
- 7(土) スライドトーク 大名と菓子
- 8(日) 教室 古文書のみかた 中級編⑤
- 14(土) 講演会「井伊家と菓子」
- 15(日) 教室 わくわく体験スクール「茶道を楽しもう」
- 21(土) 講演会「江戸時代の菓子文化」
- 22(日) 教室 古文書のみかた 中級編⑥

11月

- 11／7(火)～12／13(水) 休館

12月

- 16(土) スライドトーク 龍
- 25(月)～31(日) 休館

企画展

関東大震災から100年
災害と井伊家伝来資料
9/1～10/4

特別展

大名と菓子
―百菓繚乱―
10/7～11/6

テーマ展

龍
―天翔る霊獣―
12/14～1/15

常設展示“ほんもの”との出会い

10/4、6 展示替により一部休室

＊「古文書のみかた」は事前申込制です。

募集・催し

◉わくわく体験スクール「茶道を楽しもう」◉

日本の伝統文化である茶道について学び、殿様の住まいを復元した木造棟でお茶の体験を行います。

■日時　10月15日(日)
1～3年生：13時30分～15時30分
4～6年生：10時～12時

■会場　当館講堂、木造棟

■講師　外海 和子先生(表千家茶道講師)

■参加費　500円
(保険料・資料・お茶・お菓子代)

■定員　1～3年生、4～6年生：各20名
(応募者多数の場合は抽選)

■対象　彦根市に在住もしくは在学する小学生

■申込方法　①②いずれかで申込み。
①各小学校に配布するチラシに印刷した申込用紙に必要事項を記入し、博物館に持参もしくは郵送。
②彦根市電子申請サービスから申込み。

■申込期間
9月1日(金)～20日(水)
＊必着

◉企画展「関東大震災から100年　災害と井伊家伝来資料」関連講演会◉

■演題・講師
「災害と井伊家伝来資料」
茨木恵美（当館学芸員）

■趣旨
当館が所蔵する、水損し開披不能となった多数の古文書や、刀剣、陶磁器をはじめとする千件におよぶ関東大震災罹災品。これらを踏まえながら、井伊家伝来資料と災害の関わりを紹介します。

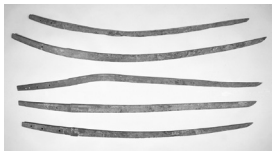
■日時　9月16日（土）14時～15時30分

■会場　当館講堂

■定員　50名

■資料代　100円
(但し、彦根市内在住の中学生以下は無料)

■受付　当日受付
(先着順、受付開始13時30分～)
＊展示の観覧には別途観覧料が必要です。



関東大震災罹災品
刀剣

◆休館・一部休室のお知らせ◆

施設整備等のため休館・一部休室いたします。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。

【休　館】10月5日(木)、11月7日(火)～12月13日(水)、12月25日(月)～31日(日)

【一部休室】10月4日(水)・10月6日(金)

Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

編集・発行
彦根城博物館

〒522-0061　滋賀県彦根市金亀町１番１号
TEL 0749(22)6100　FAX 0749(22)6520
https://hikone-castle-museum.jp/